

## 各分野計画策定のための調査概要

### 1 地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画策定のための調査

#### (1) 実施概要

調査名	対象者	サンプリング	調査方法	調査時期
一般市民調査	市内在住の 18 歳以上の市民 3,000 人	住民基本台帳から無作為抽出	郵送配布・回収 (督促礼状1回)	令和元年 10 月 25 日 (金)発送予定

#### (2) 調査項目一覧

調査項目	問番号	設問	他分野との共通設問
A 基本属性	F1	性別	
	F2	年齢	
	F3	職業	
	F3-1	従業地	
	F4	世帯人数	
	F4-1	家族構成	
	F5	介助・介護が必要な同居の家族	
	F6	居住地	
	F7	居住歴	
	F8	住居形態	
	F9	自治会・町会等の有無	
	F9-1	自治会・町会等への加入状況	
	F9-2	自治会・町会等に参加していない理由	
B 近所づきあい	問1	近所づきあいの必要性	
	問2	近所づきあいの現状	高齢・障害
	問2-1	近所づきあいのない理由	
	問3	今後の近所づきあいについて	
C 支え合いに関する意識	問4	地域で頼みたいこと・頼まれたらできること	高齢・障害
D 地域活動・ボランティア	問5	取り組んでいる地域活動・ボランティア活動	
	問5-1	地域活動・ボランティア活動への取組の頻度	
	問5-2	ボランティア活動に取り組まない理由	
	問6	ボランティア活動等に参加しやすい条件	
	問7	身近な活動拠点の利用状況	
E 日ごろの悩みと相談	問8	地域のおける支え合いをより充実するために必要なこと	
	問9	日常生活の悩みや不安	
	問 10	相談できる人の有無	高齢・障害
	問 10-1	相談相手	
	問 11	課題を抱えた世帯の地域の中での把握状況	
	問 12	(ア)相談窓口の認知度 (イ)相談窓口を利用する上での課題	
	問 13	相談したいと思う形態(来所、訪問、電話、SNS等)	
	問 14	地域包括支援センターの役割や機能の認知度	
問 15	権利擁護センター・ふちゅうの役割や機能の認知度		
F 福祉のまちづくり	問 16	(ア)福祉サービスの情報の入手先 (イ)情報を入手する際に困っていること	
	問 17	建築物・公共交通機関等・情報のバリアフリー化の状況	
	問 18	外出先での手助けの経験	
	問 19	心のバリアフリーを進めるために必要なこと	
	問 20	福祉のまちづくりで優先的に取り組むこと	

調査項目	問番号	設問	他分野との共通設問
G 災害時の支え合い	問 21	災害時の不安や心配ごと	
	問 22	普段から災害時に備えていること	
	問 23	災害時に備えて協働で進める地域の支え合い	
	問 24	災害時に手助けできること	
H 福祉に対する考え方	問 25	障害や制度の認知度	
	問 26	認知症のイメージ	高齢
	問 27	ソーシャルインクルージョンに関する考え方	
I 府中市の福祉施策	問 28	地域の暮らしの満足度	
	問 29	市が優先的に取り組むべき福祉施策	
	問 30	ご意見・ご要望<自由回答>	

## 2 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第8期）策定のための調査

### (1) 実施概要

区分	調査名	対象者	サンプリング	調査方法	調査時期
調査 1	介護予防・日常生活圏域二一ズ調査	市内在住の 65 歳以上の市民 3,600 人 ・65 歳以上の市民で認定を受けていない者(2,600 人程度) ・65 歳以上の市民で要支援 1・2 の認定者(1,000 人程度)	住民基本台帳から無作為抽出	郵送配布・回収 (督促礼状 1 回)	令和元年 11~12 月 発送予定*
調査 2	要支援・要介護認定者調査	市内在住の 65 歳以上の要支援・要介護認定者 3,200 人 ・居宅サービス利用者 1,800 人 ・施設サービス利用者 800 人 ・サービス未利用者 600 人	介護保険居宅サービス・施設サービスを受けている方、要支援・要介護認定者のうちサービス未利用の方から無作為抽出	郵送配布・回収 (督促礼状 1 回)	令和元年 10 月 11 日(金) 発送予定
調査 3	介護保険サービス提供事業者調査	市内で介護予防・居宅介護サービス、施設サービスを提供している全事業所	全事業所 約 200 程度	郵送配布・回収 (督促礼状 1 回)	
調査 4	介護支援専門員(ケアマネジャー)調査	市内の居宅介護支援事業所に在籍する全ての介護支援専門員	全員 約 180 程度	郵送配布・回収 (督促礼状 1 回)	
調査 5	医療機関調査	市内の医療関係機関(病院、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション)	対象者から抽出 約 400 程度	郵送配布・回収 (督促礼状 1 回)	

※なお、調査1 は今秋、厚生労働省より調査概要が示されるため、その調整を行ったうえで実施します。

(2) 調査項目

調査1 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

調査項目	問番号	設問	他分野との 共通設問
A 基本属性	F1	性別	
	F2	年齢	
	F3	居住地域	
	F4	家族構成／世帯の状況	
B 就労意欲	問1	収入のある仕事の有無	
	問1-1	何歳まで仕事をしたいか	
	問1-2	仕事を続けるうえで重視する点	
C 生活状況	問2	要支援認定の状況	
	問3	介護・介助の状況	
	問3-1	主な介護・介助者	
	問4	介護が必要になった時に生活したい場所	
	問5	経済的にみた暮らしの状況	
	問6	住まい(一戸建て、集合住宅など)	
	問7	住まいや住環境で困っていること	
D からだを動かすこと	問8	手すりを使わず、階段の昇降	
	問9	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がること	
	問10	15分位続けて歩くこと	
	問11	過去1年間に転んだ経験	
	問12	転倒に対する不安	
	問13	外出状況	
E 食べること	問14	昨年と比べた外出の回数	
	問15	身長・体重(BMI)	
	問16	半年前と比べて固いものが食べにくくなったか	
	問17	歯の数と入れ歯の利用状況	
	問17-1	毎日入れ歯の手入れをしているか	
F 毎日の生活	問18	誰かと食事をともにする機会	
	問19	物忘れの様子	
	問20	バスや電車を使って1人で外出すること(自家用車でも可)	
	問21	自分で食品・日用品の買物をする事	
	問22	自分で食事の用意をする事	
	問23	自分で請求書の支払いをする事	
G 地域生活と日ごろの活動	問24	自分で預貯金の出し入れをする事	
	問25	会・グループ等への参加状況	
	問26	地域づくり活動への参加者としての参加意向	
	問27	地域づくり活動への企画・運営(お世話役)としての参加意向	
	問28	これから参加したい活動	
	問29	敬老の日記念大会の参加状況	
	問29-1	その理由	
	問30	敬老の日記念大会の参加意向	
	問30-1	その理由	
	問31	高齢者保養所利用助成の利用状況	
	問32	生きがいの有無	
	問33	生きがいづくり事業として望む支援(自由記述)	
H 認知症	問34	友人・知人と会う頻度	
	問35	認知症に対するイメージ	地域福祉
	問36	認知症について知っていること	
	問37	認知症予防啓発活動への参加・認知状況	
	問38	認知症になっても住み慣れた地域で生活するために必要なこと	

調査項目	問番号	設問	他分野との 共通設問
I たすけあい	問 39	心配事や愚痴を聞いてくれる人	
	問 40	心配事や愚痴を聞いてあげる人	
	問 41	看病や世話をしてくれる人	
	問 42	看病や世話をしてあげる人	
	問 43	近所づきあいの現状	地域・障害
	問 44	地域からの役割の期待	
	問 45	日常生活が不自由になったとき地域の人たちにしてほしい手助け	
	同上	地域の支え合い(手助けできること、過去に手助けをしたこと、手助けしてほしいこと)	地域・障害
J 健康づくりや介護予防	問 46	主観的健康観	
	問 47	主観的幸福度	
	問 48	1か月間にゆううつな気持ちになったりしたことがあったか	
	問 49	1か月間に物事に対して心から楽しめない感じがよくあったか	
	問 50	喫煙の状況	
	問 51	かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無	
	問 52	治療中の病気	
	問 53	介護予防に対する考え	
	問 54	介護予防事業の参加状況	
	問 54-1	介護予防事業の成果	
K 災害時の対応	問 55	災害時に助けてくれる人	
	問 56	災害に備えて取り組んでいること	
	問 57	災害時に手助けが必要な人に対してできること	
L 情報入手	問 58	健康や介護、福祉サービス、地域活動の情報入手先	
	問 59	暮らしの問題や福祉に関する相談先	地域・障害
	問 59-1	地域包括支援センターの利用状況	
M 介護保険	問 60	介護保険サービスの認知度	
N 高齢者保健福祉サービス	問 61	高齢者保健福祉サービスに関する利用意向	
O 在宅療養	問 62	自宅で療養を続けたいと思うか	
	問 62-1	自宅での療養は可能だと思うか	
	問 62-2	そう思わない、難しいと思う理由は	
P 権利擁護	問 63	高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口の認知度	
Q 自由意見	問 64	市の介護保険制度や高齢者保健福祉サービスについての意見・要望	

調査2 要支援・要介護認定者調査

調査項目	問番号	設問	他分野との 共通設問
A 基本属性	F1	性別	
	F2	年齢	
	F3	世帯の状況	
	F4	居住地域	
B 住まい	問1	住まい(一戸建て、集合住宅など)	
	問1-1	住まいや住環境で困っていること	
C 医療	問2	現在治療中の病気の有無	
	問3	かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無	
	問4	現在受けている医療処置	
	問5	訪問診療の有無	
D 介護保険	問6	要介護度	
	問7	障害福祉サービスの満足度	
	問8	要介護認定を受けたきっかけ(誰・どこから勧められたか)	
	問9	介護サービス利用の有無	
	問9-1	介護保険サービスを利用していない理由	
	問9-2(1)	介護保険サービスの利用状況/施設・居住系サービス	
	問9-2(2)	介護保険サービスの利用状況/自宅で生活をしながら利用するサービス	
	問9-3(1)	介護サービスの満足度/総合的な満足度	
	問9-3(2)	満足度の基準	
	問10	今後生活したいところ	
	問11	施設入所申し込みの状況	
	問11-1	申し込み理由	
E 利用者本位のサービスのあり方	問12	現在のケアプランの満足度	
	問12-1	ケアプランの不満の内容	
	問13	ケアマネジャーの評価	
F 権利擁護	問14	高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口の認知度	
G 高齢者保健福祉施策	問15	高齢者保健福祉サービスに関する利用意向	
	問16	民間サービスの利用状況	
H 認知症	問17	認知症について知っていること	
	問18	認知症になっても住み慣れた地域で生活するために必要なこと	
I 地域生活と日ごろの活動	問19	主観的幸福度	地域・障害
	問20	近所づきあいの現状	
	問21	日常生活が不自由になったとき地域の人たちにしてほしい手助け	
	問22	生きがいの有無	
	問23	これから参加したい活動	
J 災害時の対応	問24	災害時に手助けをしてくれる人	
	問25	災害時に手助けをしてもらいたいこと	
K 在宅療養	問26	自宅で療養を続けたいと思うか	
	問26-1	療養は可能だと思うか	
	問26-2	そう思わない、難しいと思う理由は	
L 自由意見	問27	市の高齢者保健福祉サービスや介護保険制度についての意見・要望	
M 主な介護者の状況や意向	問28	主な介護者	
	問29	主な介護者の年齢	
	問30	主な介護者の居住地	
	問31	介護している期間	
	問32	1日に介護している平均時間	
	問33	被介護者が生活するのによいところ	
	問34	介護をしていくうえでの問題点	
	問35	介護をしていて良かったと思うこと	
	問36	介護者支援として必要と思うもの	
	問37	市への要望<自由回答>	

調査3 介護サービス提供事業者調査

調査項目	問番号	設問	他分野との 共通設問
A 基本属性	問 1(1)	提供しているサービス	
	問 1(2)	他に提供しているサービス	
	問 1(3)	介護保険以外のサービス提供の有無	
B 事業運営	問2	昨年度の事業採算	
	問3(1)	職員の離職状況	
	問3(2)	離職理由	
	問3(3)	離職防止策	
C サービス提供における課題	問4	介護従業員の処遇改善について	
	問5	サービス提供での困難ケースの有無	
	問5-1	困難ケースの内容	
	問5-2	困難ケース対応にあたり必要な行政支援(自由記述)	
	問6	介護予防・日常生活支援総合事業のサービスの提供の有無	
D サービスの質の向上と 人材確保に向けた取組	問6-1	(提供していない場合)総合事業を提供しない理由は何ですか	
	問6-2	(提供している場合)総合事業を進めていくうえでの課題	
E 認知症患者のサービス利用	問7	サービスの質の向上に対する取組	
	問8	確保の困難な職種	
	問9	人材を確保するための取組	
	問 10	人材の確保・育成や早期離職防止と定着促進のために有効と考える支援策	
	問 11	職員の研修・教育等に関して困っていること	
	問 12	事業所内での研修の実施状況	
	問 13	外部の研修等への参加支援の状況	
	問 14	第三者評価の受審の有無	
F 医療と介護の連携状況	問 14-1	受審していない理由	
	問 15	認知症の利用者の状況で実際にあること	
	問 16	医療機関やかかりつけ医との情報交換の方法	
	問 17	認知症患者の支援にあたってのかかりつけ医との連携	
G 共生型サービス	問 18	認知症患者の支援に必要なこと	
	問 19	市内の在宅療養者への医療と介護の連携の状況	
	問 19-1	医療と介護が“連携していないと思う”理由	
	問 20	退院前(時)カンファレンスへの出席状況	
	問 21	医療と介護の連携を図るうえでの情報の共有化について	
	問 22	医療関係機関との間での問題やトラブルの有無	
	問 22-1	医療関係機関との間で発生した問題やトラブルの内容<自由回答>	
	問 23	利用者について関係機関、職種との連携状況	
	問 24	在宅療養を支えるうえで、さらに連携が必要と考える医療職	
	問 25	利用者の医学的な情報の把握状況	
	問 26	医療と介護の連携を図るために必要なこと	
	問 27	医療と介護の連携で苦勞していること<自由回答>	
H 災害時の体制	問 28	医療関係機関に期待すること<自由回答>	
	問 29	共生型サービスへの参入意向	
	問 29-1	準備又は検討している共生型のサービスの種類	
H 災害時の体制	問 29-2	サービスを実施していくうえでの課題<自由回答>	
	問 30	災害時のマニュアルの作成状況	
	問 30-1	マニュアルの内容	
	問 31	BCP の策定の有無	
	問 32	避難訓練や安否確認の訓練の有無	
	問 33	災害時に備えた地域との連携の程度	
	問 34	災害発生時における課題<自由回答>	
問 35	感染防止のため取り組んでいること<自由回答>		

調査項目	問番号	設問	他分野との 共通設問
I 地域との関わり	問 36	地域団体や組織とのかかわり	
	問 36-1	かかわりの内容	
	問 37	地域ケア会議への出席	
	問 37-1	地域ケア会議を活発にするために必要なこと	
J 事故やトラブルの対応策	問 38	ヒヤリハット報告書の決まった様式の有無	
	問 39	ヒヤリハットの報告基準や報告手順のマニュアル	
	問 40	「ヒヤリハット報告書」が提出される頻度	
	問 41	「ヒヤリハット報告書」の活用	
	問 42	行政報告した事故に関する情報共有や再発防止への取組	
K 自由意見(市への意向)	問 43	事業者として市に望むこと	
	問 44	介護保険制度に関する要望<自由回答>	

#### 調査4 介護支援専門員調査

調査項目	問番号	設問	他分野との 共通設問
A 基本属性	問1	性別	
	問2	年齢	
	問3	ケアマネジャー以外の所有資格	
	問4	ケアマネジャー業務の経験年数	
	問5	主任ケアマネ資格の有無	
	問6	現在の居宅介護支援事業所での在職期間	
B 業務の担当状況	問 7	勤務形態	
	問 7-1	兼務している業務	
C ケアプランの作成状況	問 8	担当している利用者数	
	問 8-1	(介護予防プランを受託していない場合)受託していない理由	
	問 8-2	(介護予防プランを受託している場合)受託件数を増やすうえで課題となっていること	
D 担当地域におけるサービスの状況	問 9	量的に不足しているサービス、ケアプランに組み入れにくいサービス、必要性が高まるとされるサービス	
	問 10	介護保険以外のサービスやサポートをケアプランに加えたことの有無	
	問 10-1	ケアプランに加えた高齢者保健福祉サービス	
	問 10-2	ケアプランに加えたインフォーマルサポート	
	問 11	今後一層の充実が必要と思う高齢者保健福祉サービス	
問 11-1	その理由		
E サービス提供事業所等との関わり	問 12	サービス提供事業所に関する情報収集や連絡、調整の方法	
	問 13	ケアプラン作成時の医療機関等からの情報収集の状況	
F サービス担当者会議	問 14	サービス担当者会議への参加状況	
	問 15	サービス担当者会議の開催にあたって困難と感ずること	
G 地域包括支援センターの役割	問 16	地域包括支援センターの役割に対する評価	
H サービス利用者の在宅医療の状況	問 17	訪問看護、訪問歯科診療、訪問服薬管理指導が必要と思われる利用者の有無、人数	
	問 18	在宅療養高齢者の急変時の医療機関へのスムーズな移行について	
	問 19	高齢者の在宅療養を進めていくうえで不足している機能	
	問 20	医療的ケアが必要な人のショートステイの利用状況	
	問 21	在宅医療をささえるうえで必要と思われる支援・サービス<自由回答>	
	問 22	後方支援病床利用調整事業の利用状況	
問 22-1	利用に至らない理由		

調査項目	問番号	設問	他分野との 共通設問
I 認知症患者のサービス利用	問 23	認知症の利用者の状況で実際にあること	
	問 24	認知症患者の支援にあたってのかかりつけ医との連携	
	問 25	認知症患者の支援に必要なことになること	
J 医療と介護の連携状況	問 26	医療機関やかかりつけ医との情報交換の方法	
	問 27	入院時の情報提供書の提出状況	
	問 28	退院前(時)カンファレンスへの出席状況	
	問 29	医療関係機関との間での問題やトラブルの有無	
	問 29-1	医療関係機関との間で発生した問題やトラブルの内容<自由回答>	
	問 30	利用者について関係機関、職種との連携状況<自由回答>	
	問 31	医療と介護の連携で苦勞していること<自由回答>	
	問 32	在宅療養を支えるうえで、さらに連携が必要と考える医療職	
K ケアマネジャー業務全般	問 33	自立支援に向けたケアプランの作成状況	
	問 33-1	自立支援に向けたプランとして意識していること・工夫していること<自由回答>	
	問 33-2	不十分だと思う理由<自由回答>	
	問 34	ケアマネジャー業務を行ううえでの課題	
	問 35	ケアマネジャー業務の中で負担と感ずること	
	問 36	ケアプランを作成するうえで困ったときの相談先	
	問 37	相談内容	
	問 38	ケアマネジャー業務のレベルアップのために行っている取組、今後行いたい取組	
	問 39	利用者への情報提供の際の課題	
L 自由意見(市への意向)	問 40	ケアマネジャーとして市に望むこと	
	問 41	介護保険制度に関する要望等<自由回答>	

## 調査5 医療関係者調査

調査項目	問番号	設問	他分野との 共通設問
A 基本属性	問 1	所属している医療関係機関	
	問 2	職種	
B 医療と介護の連携状況	問 3	在宅療養者への医療と介護の連携の状況	
	問 3-1	“連携していないと思う”理由	
	問 4	退院前(時)カンファレンスやサービス担当者会議への出席の有無	
	問 5	介護サービス事業者とのトラブル	
	問 5-1	介護サービス事業者との間で発生した問題やトラブルの内容<自由回答>	
	問 6	関係機関、職種との連携状況	
	問 7	介護保険制度、介護保険サービスの理解	
	問 8	在宅医療についての考え	
	問 8-1	どのように関わりたいか<自由回答>	
	問 9	医療職と介護職が連携するために充実するとよいこと	
	問 10	在宅療養を支えるうえで、さらに連携が必要と考える介護職	
	問 11	(医師)認知症や認知症の介護に関する研修受講の意向	

調査項目	問番号	設問	他分野との 共通設問
C 医師の取組状況	問 12	(医師)行っている在宅医療	
	問 12-1	(医師)訪問診療や居宅療養管理指導の依頼元	
	問 13	(医師)他科・他の医療機関との連携	
	問 14	(医師)介護関係者との情報交換の機会	
	問 15	(医師)ケアプランの送付と受け取りの必要性	
	問 16	(医師)担当患者のうち認知症の症状がある人の割合	
	問 17	(医師)認知症の症状がある人を治療するときに困ること	
	問 18	(医師)認知症サポート医へ相談したことはありますか。	
	問 19	(医師)認知症専門医への紹介	
	問 19-1	(医師)認知症専門医への紹介の目的	
	問 19-2	(医師)認知症専門医の種類	
	問 19-3	(医師)認知症専門医に紹介するときに問題になること	
D 歯科医師の取組状況	問 20	(歯科医師)訪問歯科診療や居宅療養管理指導の実施	
	問 20-1	(歯科医師)訪問時の口腔衛生指導の実施	
	問 20-2	(歯科医師)歯科衛生士による訪問歯科衛生指導及び居宅療養管理指導の実施	
	問 20-3	(歯科医師)訪問歯科診療や居宅療養管理指導で対応可能な治療	
	問 20-4	(歯科医師)訪問歯科診療や居宅療養管理指導の依頼元	
	問 21	(歯科医師)今後の訪問歯科診療や居宅療養管理指導の実施の可能性	
	問 22	(歯科医師)在宅療養者のかかり医との連携	
問 22-1	(歯科医師)在宅療養者のかかり医と連携していない理由		
E 薬剤師の取組状況	問 23	(薬剤師)在宅患者訪問薬剤管理指導の利用者の有無、人数	
	問 23-1	(薬剤師)居宅療養管理指導の依頼元	
	問 23-2	(薬剤師)医師との連携状況	
	問 23-3	(薬剤師)処方箋以外の連携の手段	
	問 23-4	(薬剤師)在宅患者訪問薬剤管理指導の利用者がいない理由	
問 24	(薬剤師)在宅療養支援診療所の処方箋の取り扱い状況の有無、人数		
F 訪問看護師の取組状況	問 25	(訪問看護師)在宅療養支援の取組状況	
	問 26	(訪問看護師)在宅医療を実施している医療機関との連携	
	問 26-1	(訪問看護師)在宅療養実施医療機関との連携が取れていない理由<自由回答>	
	問 27	(訪問看護師)医師との連携の方法	
問 27-1	(訪問看護師)医師との連絡の手段		
G 病院の退院支援担当者 (看護師、医療ソーシャルワーカー)の取組状況	問 28	(MSW)在宅療養支援の取組状況	
	問 29	(MSW)地域連携活動の内容	
	問 30	(MSW)介護保険施設との連携	
H 地域包括ケアシステム 構築に向けた医療介護 連携	問 31	医療と在宅介護の連携で苦労している点<自由回答>	
	問 32	介護従事者等に期待すること<自由回答>	
	問 33(1)	医療と介護の連携が進むために必要なこと 連携の仕組みづくり	
	問 33(2)	地域の人材育成	
	問 33(3)	サービス・基盤整備	
	問 33(4)	情報提供・相談支援の充実	
問 34	医療と介護の連携についての意見、要望<自由回答>		

### 3 府中市障害者計画、障害福祉計画（第5期）・障害児福祉計画（第2期）策定のための調査

#### (1) 実施概要

区分	調査名	対象者	サンプリング	調査方法	調査時期
調査1	障害等のある人の調査	市内の18歳以上の障害者手帳所持者、自立支援医療受給者証所持者、特定医療費受給者証所持者 【配布数】 2,300人 【内訳】 ①身体障害者 1,225人 ②知的障害者 325人 ③精神障害者 325人 ④自立支援医療受給者 100人 ⑤難病患者 325人	①市内に居住する18歳以上の身体障害者手帳所持者を無作為抽出 ②市内に居住する18歳以上の愛の手帳所持者より無作為抽出 ③市内に居住する18歳以上の精神障害者保健福祉手帳所持者より無作為抽出 ④市内に居住する18歳以上の自立支援医療受給者証所持者より無作為抽出 ⑤市内に居住する18歳以上の特定医療費受給者証所持者より無作為抽出	郵送配布・回収（督促礼状1回）	令和元年10月25日（金）発送予定
調査2	子どもの育ちや発達に関する調査	市内の18歳未満の障害者手帳所持者、特定医療費受給者証所持者、障害児通所給付費受給者証所持者の保護者 【配布数】 1,000人 【内訳】 ①身体障害児 126人 ②知的障害児 493人 ③精神障害児 062人 ④難病患者 009人 ⑤児童通所受給者証・障害福祉サービス受給者証所持者 310人	①市内に居住する18歳未満の身体障害者手帳所持者 ②市内に居住する18歳未満の愛の手帳所持者 ③市内に居住する18歳未満の精神障害者保健福祉手帳所持者 ④市内に居住する18歳未満の特定医療費受給者証所持者 ⑤市内に居住する18歳未満の児童通所受給者証・障害福祉サービス受給者証所持者より無作為抽出	郵送配布・回収（督促礼状1回）	
調査3	障害者福祉関連団体調査	市内の障害者福祉団体11団体	市内の障害者福祉団体（当事者団体・家族会）	郵送配布・回収（督促礼状1回）	
調査4	障害福祉サービス事業所調査	市内の障害福祉サービス事業所295事業所	市内の障害福祉サービス事業所	郵送配布・回収（督促礼状1回）	

## (2) 調査項目

### 調査1 障害等のある人への調査

調査項目	問番号	設問	他分野との 共通設問
A 基本属性	F1	記入者	
	F2	(1)性別、(2)年齢	
	F3	居住地域	
	F4	同居者	
	F5	所持する手帳(手帳の程度)、自立支援医療の受給の有無 および特定医療費受給者証を受給している対象の疾病	
	F6	身体障害者手帳に記載された項目	
	F7	障害・難病が生じた時期	
	F8	(1)収入源、(2)年収	
B 住まい	問1	住居形態	
	問2	住居について困っていること(1)設計・設備、(2)住宅事情	
	問3	住居の困りごとに対して希望する支援	
C 日常生活	問4	日常生活の状況(ADL等)(1)～(11)	
	問5	介助の状況	
	問5-1	(1)介助を頼める人、(2)主な介助者	
	問5-2	公的サービスによる介助の頻度	
	問5-3	家族等介助の頻度	
D 障害福祉サービスの 利用	問5-4	将来の不安なこと	
	問6	障害福祉サービスの利用状況、利用意向(1)～(8)	
	問6-1	障害福祉サービスの満足度	
E 日ごろの活動	問6-2	サービスの不満な理由	
	問7	外出の頻度	
	問8	市内のバリアフリー環境の整備状況の満足度	
F 就労	問8-1	不満な理由(バリア等)	
	問9	現在の仕事	
	問9-1	仕事上の不安	
	問9-2	仕事をしていない理由	
	問10	今後したい仕事	
G 相談・権利擁護	問11	障害のある人が働くために希望すること	
	問12	相談できる人の有無	地域・高齢
	問12-1	相談先	
	問13	市内の相談機関等の認知度・利用状況(1)～(4)	
	問14	市内の相談機関等に求めること	
	問15	後見人等にやってほしいこと	
H 防災	問16	成年後見制度を利用しやすくするために必要なこと	
	問17	緊急時の単独避難	
	問18	具体的な援助者	
	問19	災害時の不安や心配ごと	
	問20	避難場所で希望する配慮	
	問21	災害時に協働で進める地域の支え合い	
I 医療	問22	災害対策としてふだんから行っていること	
	問23	入院経験の有無	
	問23-1	退院するにあたっての困りごと	
	問24	現在受けている医療	
	問24-1	通院での困りごと	

調査項目	問番号	設問	他分野との 共通設問
J 地域・共生社会	問 25	近所づきあいの現状	地域・高齢
	問 26	(1)～(8)の項目について ①地域で頼みたいこと、②頼まれたらできること	地域・高齢
	問 27	地域活動への参加程度	
	問 27-1	参加している地域活動の種類	
	問 27-2	参加しない理由	
	問 28	今後参加したい、継続して参加したい地域活動	
	問 29	市民のノーマライゼーションの理解	
	問 29-1	どのようなことがあれば理解されていると思うか	
	問 30	必要とする合理的配慮	
	問 31	地域の一員として安心して自分らしい暮らしができていますか	
	問 31-1	自分らしい暮らしができていない理由	
K 施策	問 32	充実を望む施策	
	問 33	市への要望<自由回答>	

調査2 子どもの育ちや発達に関する調査

調査項目	問番号	設問	他分野との 共通設問
A 基本属性	F1	記入者	
	F2	居住地域	
	F3	宛名のお子さんの(1)性別、(2)年齢	
	F4	宛名のお子さんが所持する手帳(手帳の程度)、特定医療費受給者証の有無(対象疾病)、児童通所受給者証・障害福祉サービス受給者証(利用中のサービス)	
	F5	身体障害者手帳に記載された項目	
	F6	宛名のお子さんに障害・難病が生じた時期	
	F7	宛名のお子さんの同居者	
B 通園・通学	問1	通園・通学先	
	問1-1	通園・通学での困りごと	
C 住まい	問2	住居形態	
	問3	住居について困っていること(1)設計・設備、(2)住宅事情	
	問4	住居の困りごとに対して希望する支援	
D 介助の状況	問5	介助の状況	
	問5-1	(1)介助を頼める人、(2)主な介助者	
	問5-2	公的サービスによる介助の頻度	
	問5-3	家族等介助の頻度	
E 福祉サービスの利用	問6	福祉サービスの利用状況、利用意向(1)~(15)	
	問6-1	福祉サービスの満足度	
	問6-2	支援を受ける上での困りごと	
F 育ちや発達の状況	問7	不安や疑問を感じた時期	
	問8	どこ(誰)かに相談したか	
	問8-1	相談して、不安や疑問が解消したか	
	問9	発達障害に関する診断の有無	
	問10	市内の相談機関等の認知度・利用状況(1)~(5)	
	問11	ライフステージに応じた支援として希望すること	
	問12	お子さんの将来の希望	
G 防災	問13	災害時の不安や心配ごと	
	問14	災害対策としてふだんから行っていること	
	問15	避難場所で希望する配慮	
	問16	災害時に協働で進める地域の支え合い	
H 医療	問17	現在何らかの医療的ケアを必要としているか	
	問17-1	現在必要とする医療的ケア	
	問17-2	医療的ケアの実施にあたっての困りごと	
I 地域・共生社会	問18	市民のノーマライゼーションの理解	
	問18-1	どのようなことがあれば理解されていると思うか	
	問19	必要とする合理的配慮	
	問20	地域がお子さんの成長を支えてくれていると感じるか	
J 施策	問21	市内のバリアフリー環境の整備状況の満足度	
	問21-1	不満な理由(バリア等)	
	問22	充実を望む施策	
	問23	市への要望<自由回答>	
K 保護者の状況	問24	主な養育者	
	問25	保護者の年齢	
	問26	保護者の就労状況	
	問27	(1)収入源、(2)世帯の年収	
	問28	近所づきあいの現状	地域・高齢
	問29	相談できる人の有無	地域・高齢
	問29-1	相談先	
問30	養育の負担感・ストレス等軽減のために重要なこと(3つ)		

### 調査3 障害者福祉団体調査

調査項目	問番号	設問	他分野との 共通設問
A 活動状況	問1	団体の名称・連絡先	
	問2	会員数、運営に携わっている人数	
	問3	活動拠点の有無	
	問3-1	活動拠点の具体的な場所<自由回答>	
	問4	運営経費の収入源	
	問5	活動の担い手の現在の充足度と今後の充実意向 (1)活動する上で足りているか、(2)今後の充実に向けて	
	問5-1	活動の担い手を増やすための取り組みの有無	
	問5-2	活動の担い手を増やすための具体的な取り組み内容<自由回答>	
	問6	活動する上で困っていること	
B 相談支援体制	問7	市の相談支援体制に望むこと<自由回答>	
C 災害時の支援	問8	災害時に心配なこと、支援としてあったらよいこと<自由回答>	
D 制度の谷間の問題	問9	地域での制度の谷間の問題<自由回答>	
E 地域共生社会づくりに 向けた協力意向	問10	地域共生社会に向けた市民向けの意識啓発に協力できること <自由回答>	
	問11	地域共生社会に向けて、意識啓発以外にも協力できること <自由回答>	
F 障害福祉施策について	問12	障害者に対する合理的配慮として、特に必要なこと<自由回答>	
	問13	バリアフリーの施策で期待すること<自由回答>	
	問14	市の障害福祉施策への意見・要望<自由回答>	

### 調査4 障害福祉サービス事業所

調査項目	問番号	設問	他分野との 共通設問
A 活動状況	問1	事業所の活動状況 (名称等、組織形態、実施事業、対象事業の定員数・利用者数、 【新規:必要性を感じている実施していない事業・その理由】)	
B サービス提供体制	問2	具体的なサービス提供量	
	問3	インフォーマルサービスに対する利用者ニーズ<自由回答>	
C 今後の事業運営	問4	昨年度の事業の採算(1)事業所、(2)法人	
	問5	運営上の不安	
	問6	サービスを実施する上での問題	
	問7	人材確保に向けての課題	
	問8	今後5年間の事業規模拡大予定	
	問9	今後5年間の利用者受入れ余裕	
D 利用者本位のしくみ	問10	権利擁護のために取り組んでいること	
	問11	苦情・意見等を取り入れるため、工夫していること	
	問12	第三者評価の実施の有無	
	問12-1	実施の予定はない理由	
	問13	障害者の虐待防止に向けて取り組んでいること	
	問14-1	サービスを提供する上で、虐待などの場面に遭遇した経験 (虐待などの場面に遭遇した事業所に)具体的な内容、対応 <自由回答>	
E 地域共生社会づくりに 向けた協力意向	問15	地域共生社会に向けた市民向けの意識啓発に協力できること <自由回答>	
	問16	地域共生社会に向けて、意識啓発以外にも協力できること <自由回答>	
	問17	災害時に事業所として協力できること	
F 力を入れている点	問18	最も力を入れていること<自由回答>	
	問19	利用者に対して特に力を入れていること<自由回答>	
G 市への要望	問20	市の障害福祉サービス充実に向けて必要なこと	
	問21	障害福祉サービスについての要望<自由回答>	
	問22	利用者や家族から寄せられた意見、要望<自由回答>	